

算数科 小学校 第3学年

■評価の観点とその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・数の表し方、整数の計算の意味と性質、小数及び分数の意味と表し方、基本的な図形の内容、量の概念、棒グラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにしている。 ・整数などの計算をしたり、図形を構成したり、長さや重さなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり適切に判断したりする力などを身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。

A 「数と計算」の評価規準の設定

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「整数の表し方」		
内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・万の単位について知っている。 ・10倍、100倍、1000倍、1/10の大きさの数及びそれらの表し方について知っている。 ・数の相対的な大きさについての理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数のまとめりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を考え、日常生活に生かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整数に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
(2)「加法及び減法」		
内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・3位数や4位数の加法及び減法の計算が、2位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解している。また、それらの筆算の仕方について理解している。 ・加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。

(3)「乗法」		
内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解している。また、その筆算の仕方について理解している。 ・乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いることができる。 ・乗法に関して成り立つ性質について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗法に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
(4)「除法」		
内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・除法の意味について理解し、それが用いられる場合について知っている。また、余りについて知っている。 ・除法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 ・除法と乗法や減法との関係について理解している。 ・除数と商が共に1位数である除法の計算が確実にできる。 ・簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算の仕方を知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 ・数量の関係に着目し、計算を日常生活に生かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・除法に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
(5)「小数とその表し方」		
内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・端数部分の大きさを表すのに小数を用いることを知っている。また、小数の表し方及び1/10の位について知っている。 ・1/10の位までの小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることを知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数のまとめりに着目し、小数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えるとともに、小数を日常生活に生かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小数に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
(6)「分数とその表し方」		
内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いることを知っている。また、分数の表し方について知っている。 ・分数が単位分数の幾つ分かで表すことができることを知っている。 ・簡単な場合について、分数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることを知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数のまとめりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えるとともに、分数を日常生活に生かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分数に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
(7)「数量の関係を表す式」		
内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係を表す式について理解するとともに、数量を□などを用いて表し、その関係を式に表したり、□などに数を当てはめて調べたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係に着目し、数量の関係を図や式を用いて簡潔に表したり、式と図を関連付けて式を読んだりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係を表す式に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。

(8)「そろばん」		
内容のまとめごとの評価規準		
・そろばんによる数の表し方について知っている。 ・簡単な加法及び減法の計算の仕方について知り、計算している。	・そろばんの仕組みに着目し、大きな数や小数の計算の仕方を考えている。	・そろばんに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。

B 「図形」の評価規準の設定

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「図形」		
内容のまとめごとの評価規準		
・二等辺三角形、正三角形などについて知り、作図などを通してそれらの関係に次第に着目している。 ・基本的な図形と関連して角について知っている。 ・円について、中心、半径、直径を知っている。また、円に関連して、球についても直径などを知っている。	・図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えるとともに、図形の性質を見だし、身の回りのものの形を図形として捉えている。	・図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。

C 「測定」の評価規準の設定

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「量の単位と測定」		
内容のまとめごとの評価規準		
・長さの単位(キロメートル(km))及び重さの単位(グラム(g)、キログラム(kg))について知り、測定の意味を理解している。 ・長さや重さについて、適切な単位で表したり、およその見当を付け計器を適切に選んで測定したりしている。	・身の回りのものの特徴に着目し、単位の関係を統合的に考察している。	・量を比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
(2)「時刻と時間」		
内容のまとめごとの評価規準		
・秒について知っている。 ・日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。	・時間の単位に着目し、時刻や時間の求め方について考察し、日常生活に生かしている。	・時刻と時間に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。

D 「データの活用」の評価規準の設定

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「データの分析」		
内容のまとめごとの評価規準		
・日時の観点や場所の観点などからデータを分類整理し、表に表したり読んだりすることができる。 棒グラフの特徴やその用い方を理解している。	・データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察して、見いだしたことを表現している。	・データを分析することに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。